

## 卓球・秋季関東学生リーグ戦

# 男女ともに春に続き2位



▲ トップバッターとしてチームをけん引した飯野弘義(経営4) 撮影・湯澤

9月2日から6日まで、大田区総合体育館で秋季関東学生卓球リーグ戦が行われ、専大は男女ともに春季リーグ戦に続き2位となった。

個人では、鈴木李茄(商1・青森山田高)が女子の敢闘賞と優秀選手賞を受賞した。

男子は第3戦で強豪・早大と対戦。2-3と追い込まれたが、徳島剛(商4)と久住(経営3)のコンビネーションを見せた久住・北原大輝(経済1=左)ペア＝撮影・湯澤

1・福井商高がストレイトで勝利し流れを引き戻すと、最終ゲームも久住昭博(経営3・北海道尚志学園高)がものしり、4-3で開幕3連勝を飾った。その後日大、明大に敗れたが、5勝2敗でリーグ戦を終えた。

新主将の王凱(商3・新潟産大附高)は部員それぞれが力をつけ、春、秋と2位になることができた。あとは強い闘争心を持って相手に立ち向かっていくだけ」と精神面で成長を課題に挙げた。悲願の優勝を狙う女子



▲ 相手を圧倒した北川真央(文4)・鈴木(左)ペア＝撮影・村上

は、第5戦で東京富士大に惜敗したものの、5勝1敗で淑徳大との最終戦を迎えた。勝って優勝を決めたい専大だったが、2-4で敗れ、王者・淑徳大にあと一歩届かなかった。阿部勝幸監督は「淑徳大とは今季3度目の対戦だったが、またしても敗れてしまっていて残念。しかし、良いライバルがいるからこそやりがいがある」と雪辱を誓った。

8月30日から9月6日まで東日本学生バドミントン選手権が北海道・湿原の風アリーナ釧路ほかで開かれ、女子団体で準優勝に輝いた。

最大の山場は2回戦の日本大戦。関東大学春季リーグ戦2位の相手に、専大は気を引き締めて挑み、ゲームカウント3-0でストレート勝ち。流石に乗り3、4回戦もストレート勝ちで決勝に進むも、法大に0-3で屈した。



▶ シングルス、ダブルスともに活躍した平井

## バドミントン・東日本学生選手権

# 女子団体 法大に敗れ準V

篠田未来(文3・富岡)は全日本学生選手権(以下、インカレ)に向けて「良い雰囲気のまま大会に臨み、優勝を狙う。最低でもベスト4入りを目指す」と目標を語った。

なお、個人では、女子ダブルスで平井亜紀(商4・高松商高)・山田真央(文4・埼玉栄高)組がベスト4入りした。

関東大学秋季リーグ戦(9月14・22日、日体大健志台キャンパス)は春季から順位を1つ落とし、4位に終わった。

明大、早大に5-0で圧勝し、その勢いをリーグ後半戦に持ち込みたかったが、日体大、法大に敗戦。最終戦でも筑波大

戦だったが、5000メートルで既に他の艇に出られれていた。作戦のミスも敗因の一つ。5000メートル競技ではスタートから力を出していった。最後、ばらつきはあったが準優勝することができてよかった」と振り返った。

入賞が期待された2000メートル競技は、台風18号による悪天候のため、競技が中止された。(葛西千瑛・文3 写真)

野尻憲介監督は「全員インカレに向けて、素晴らしい技術や能力は向上した点に気をつけて練習した。しかし、ここぞという時の精神力に欠けている点がある」と語った。(小川史緒梨・文2) 写真を取りきれない。イ

## 準優勝で信夫杯の出場権獲得

9月25、26の両日、富岡対抗戦が行われた。専大は準優勝となり、信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦の出場権を獲得した。専大は、信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦の出場権を獲得した。専大は、信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦の出場権を獲得した。



専大は5ブロック対抗戦(9月19、20日、軽井沢72ゴルフ)で4位に入賞し、信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦の出場権を獲得した。

PG A資格認定プロテストの最終プロテスト(8月30日、苫小牧ゴルフクラブ)が行われ、ゴルフ部OBの水将司さん(平24年商)・霞ヶ関カズキ(平24年商)・榎原英明さん(厚木国際カントリー倶楽部)の2人が合格した。(安江祐輔・経済2)

# 専大スポーツ

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください  
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています



▲ 絶妙なコンビネーションを見せた久住・北原大輝(経済1=左)ペア＝撮影・湯澤

9月12日から16日まで石川県・木場潟カヌー競艇・日本カヌースプリント選手権が行われた。K-4(カヤックフォア)で三浦翔太主将(商4・安達高)・佐藤貴充(商3・安達高)・石橋成志(経営3・三浦高)・村上弘記(法2・高瀬)組が1000メートル競技で3位入賞(3分15秒4)でピッチを上げていく作

## K-4 5000メートルで準優勝 1000メートルで3位

戦だったが、5000メートルで既に他の艇に出られれていた。作戦のミスも敗因の一つ。5000メートル競技ではスタートから力を出していった。最後、ばらつきはあったが準優勝することができてよかった」と振り返った。

入賞が期待された2000メートル競技は、台風18号による悪天候のため、競技が中止された。(葛西千瑛・文3 写真)



カヌー競艇の風景。選手たちが漕ぎ進むカヌーが湖面に浮かぶ。

## スピードスケート海外競技会 近藤が1500メートルで好記録 五輪へ期待膨らむ



スピードスケートの記録で2位となった。このタイムは、今野陽太さん(平21経営)が昨年まで、カナダのカルガリで行われ、1500メートルまであと0.44秒で、近藤は五輪標準記録と派遣標準記録を突破。糸川敏彦監督は「今回は調整の大会。五輪に向けて第一段階をクリアしたに過ぎない」としながらも、今輪標準記録を突破している。来年2月に開催されるソチ冬季五輪への出場が期待される。

スピードスケートの記録で2位となった。このタイムは、今野陽太さん(平21経営)が昨年まで、カナダのカルガリで行われ、1500メートルまであと0.44秒で、近藤は五輪標準記録と派遣標準記録を突破。糸川敏彦監督は「今回は調整の大会。五輪に向けて第一段階をクリアしたに過ぎない」としながらも、今輪標準記録を突破している。来年2月に開催されるソチ冬季五輪への出場が期待される。

また、土屋も突破 記録 土屋も突破 記録